

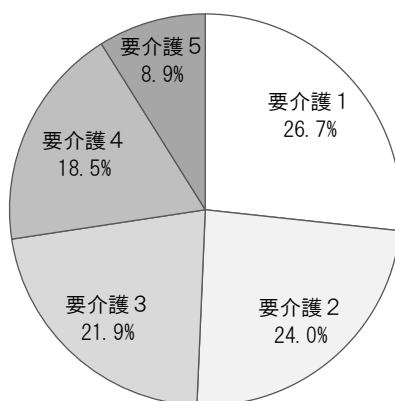
## 第4章 第7期経過介護実態調査結果

### 1 ご本人（要介護者）の状況について

#### (1) 調査時の要介護度

○要介護者の要介護度をみると、「要介護1」（26.7%）が最も高く、次いで「要介護2」（24.0%）、「要介護3」（21.9%）の順となっています。

要介護者の要介護度別構成比



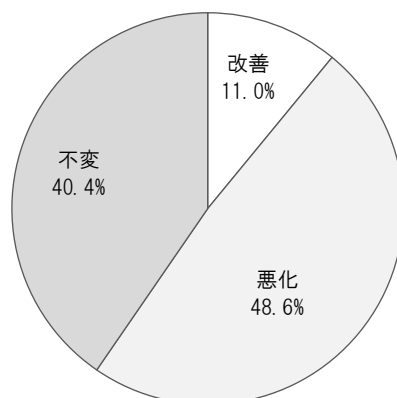
全体 n=146

#### (2) 要介護度の経年比較

○要介護者について、第7期調査時の要介護度と現在の要介護度を比較し、第7期調査時より要介護度が「改善」した方、「悪化」した方、「不変」の方の割合を算出しました。

○結果、「悪化」が48.6%と最も高く、次いで「不変」が40.4%となっています。一方、11.0%の方が「改善」しています。

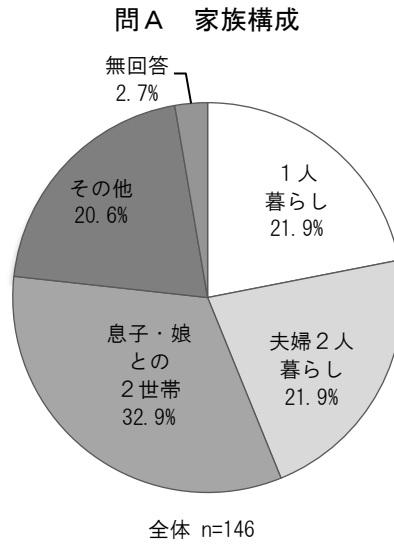
第7期調査時と現在の要介護度の変化



全体 n=146

### (3) 要介護者の家族構成

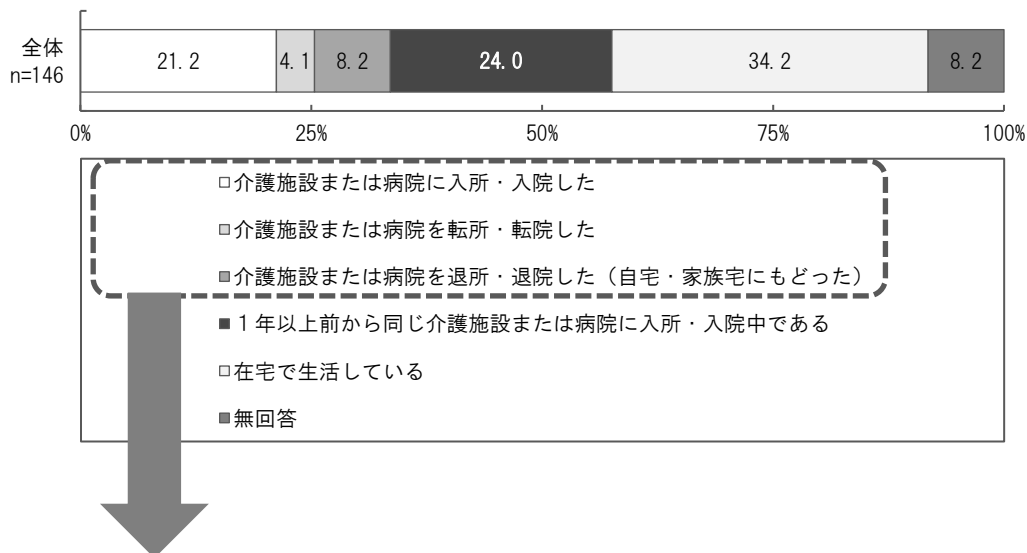
○要介護者の家族構成をみると、「息子・娘との2世帯」(32.9%)が最も高く、次いで「夫婦2人暮らし」、「1人暮らし」(各21.9%)となっています。



#### (4) 要介護者の生活状況

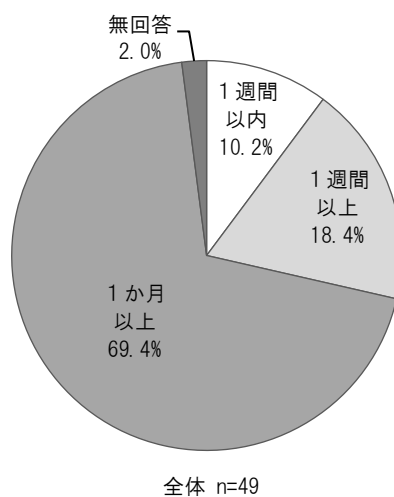
○過去1年間の介護施設・病院への入退所の有無をみると、「在宅で生活している」(34.2%)が最も高く、次いで「1年以上前から同じ介護施設または病院に入所・入院中である」(24.0%)、「介護施設または病院に入所・入院した」(21.2%)となっています。

問B 過去1年間の介護施設・病院への入退所の有無

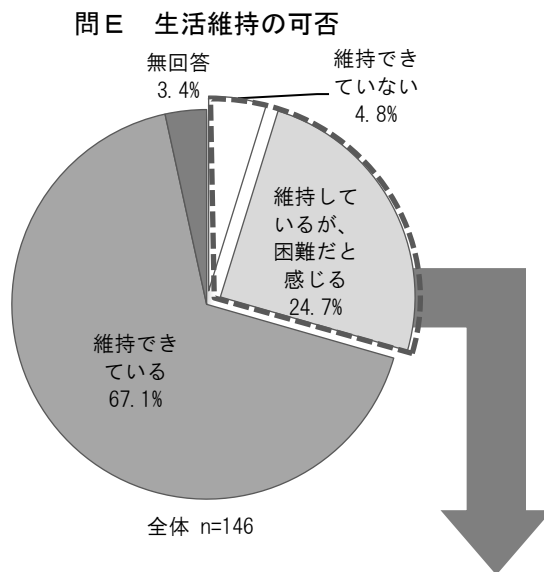


○1年以内に介護施設または病院を入退所・入退院、転所・転院した方の入所・入院期間をみると、「1か月以上」(69.4%)が最も高く、次いで「1週間以上」(18.4%)となっています。

問C 入所・入院期間

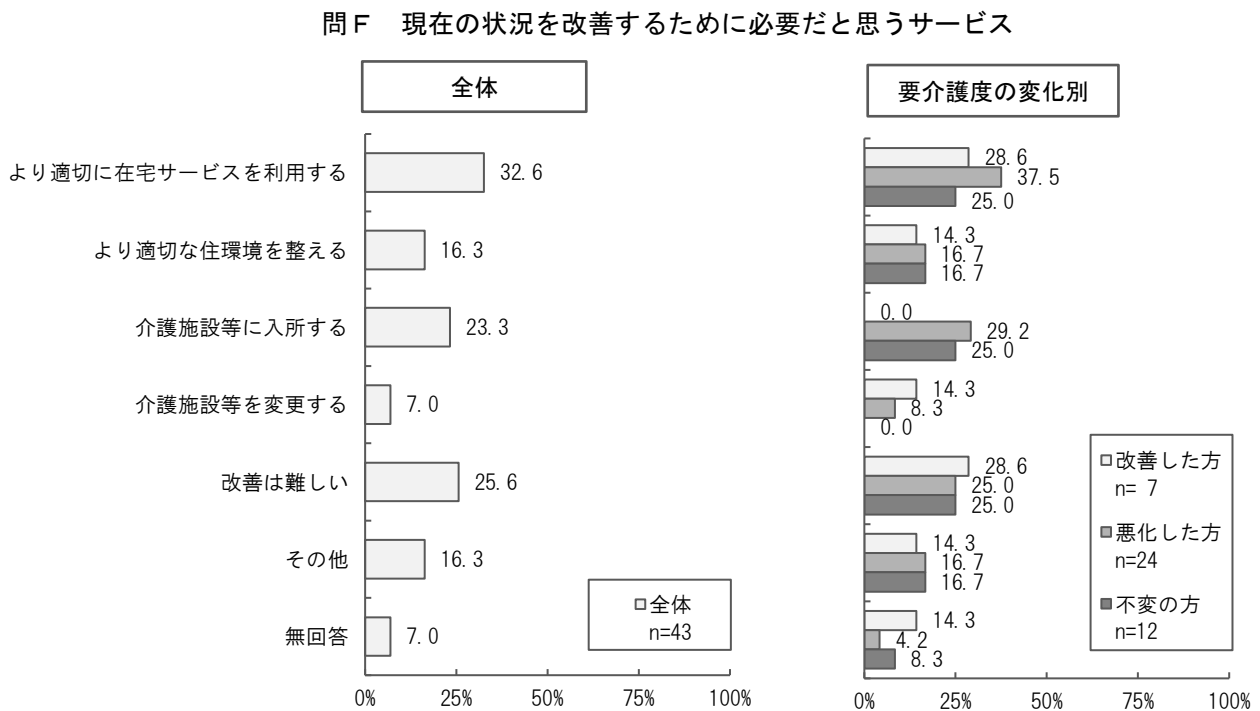


○現在のサービス利用で生活を維持できているかをみると、「維持できていない」（4.8%）と「維持しているが、困難だと感じる」（24.7%）を合わせた29.5%の方が生活の維持が難しいと感じています。



○生活の維持が難しい方の、現在の状況を改善するために必要だと思うサービスをみると、「より適切に在宅サービスを利用する」（32.6%）が最も高く、次いで「介護施設等に入所する」（23.3%）、「より適切な住環境を整える」（16.3%）の順となっています。一方、「改善は難しい」と回答した方は25.6%います。

○要介護度の変化別にみた現在の状況を改善するために必要だと思うサービスの結果は以下のとおりです。

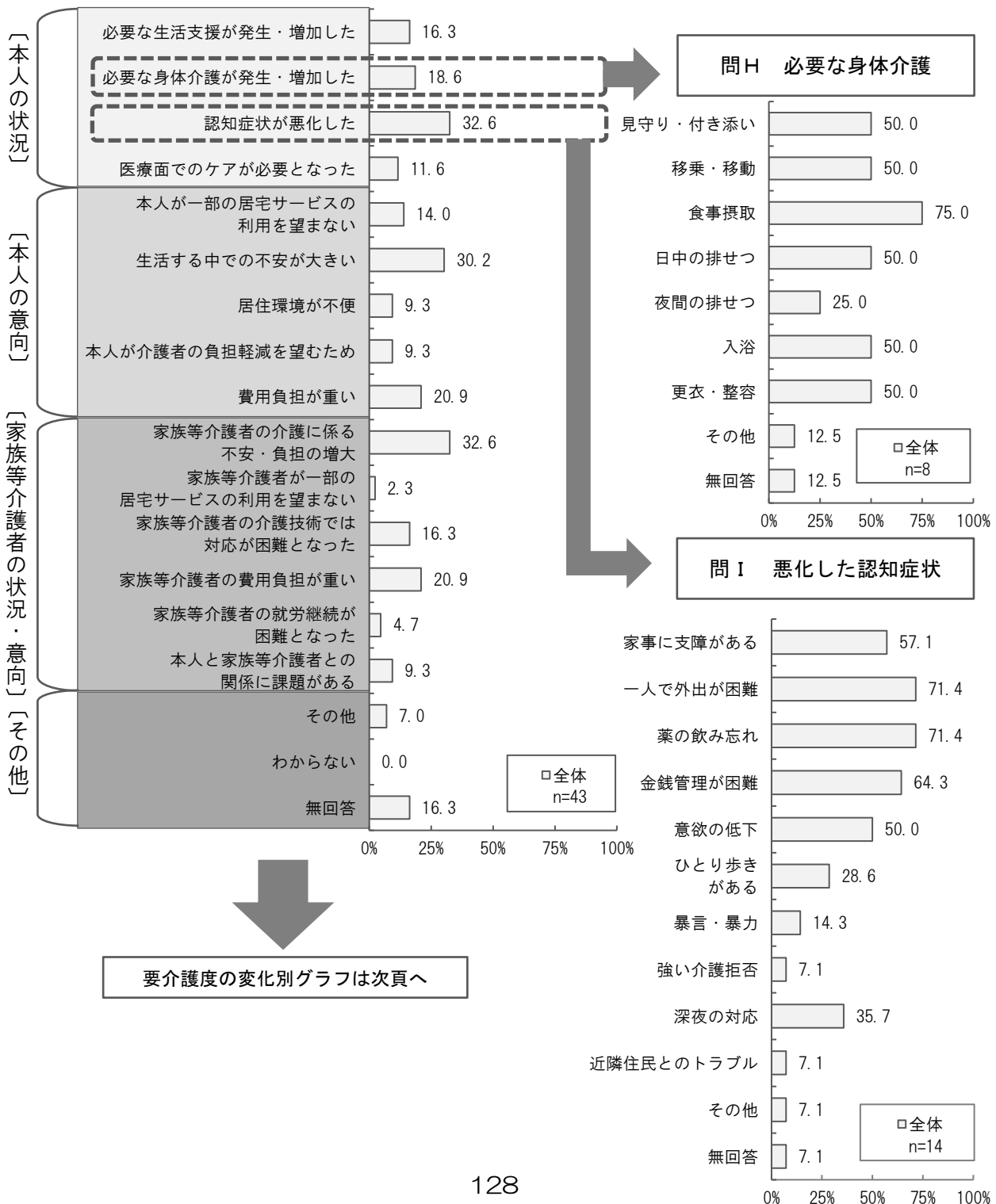


○生活の維持が困難な理由をみると、「認知症状が悪化した」「家族等介護者の介護に係る不安・負担の増大」(各32.6%)が最も高く、次いで「生活する中での不安が大きい」(30.2%)となっています。

○「必要な身体介護が発生・増加した」の内訳をみると、「食事摂取」(75.0%)が最も高く、「夜間の排せつ」(25.0%)、「その他」(12.5%)以外の項目で50.0%となっています。

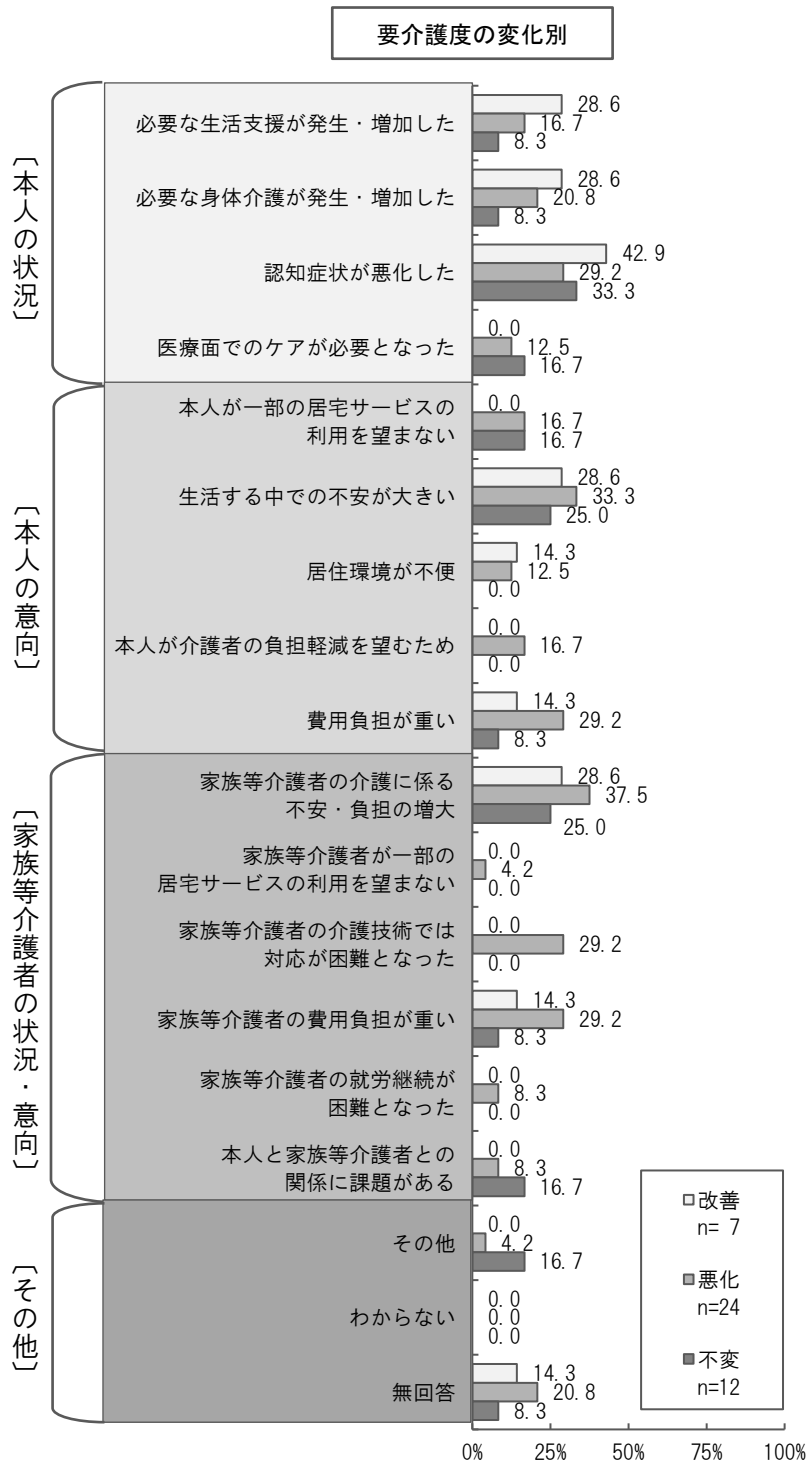
○「認知症状が悪化した」の内容をみると、「一人で外出が困難」「薬の飲み忘れ」(各71.4%)が最も高く、次いで「金銭管理が困難」(64.3%)、「家事に支障がある」(57.1%)、「意欲の低下」(50.0%)の順となっています。

問G 生活の維持が困難な理由 (×「要介護度の変化別」)



○要介護度の変化別に生活の維持が困難な理由をみると、要介護度が『悪化』した方では、「家族等介護者の介護技術では対応が困難となった」(29.2%)と「本人が介護者の負担軽減を望むため」(16.7%)の割合が『改善』、『不変』と比較して15.0ポイント以上高くなっています。

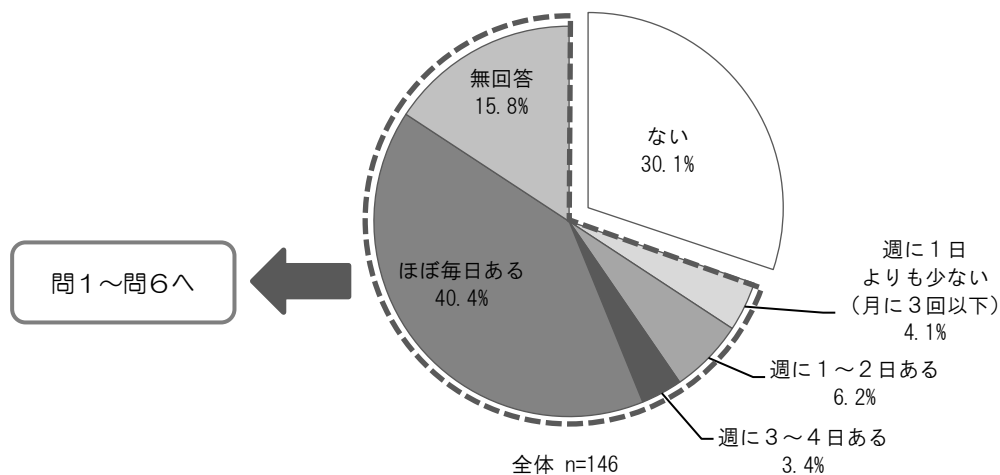
○『改善』、『不変』の結果は以下のとおりです。



### (5) 家族・親族による介護の頻度

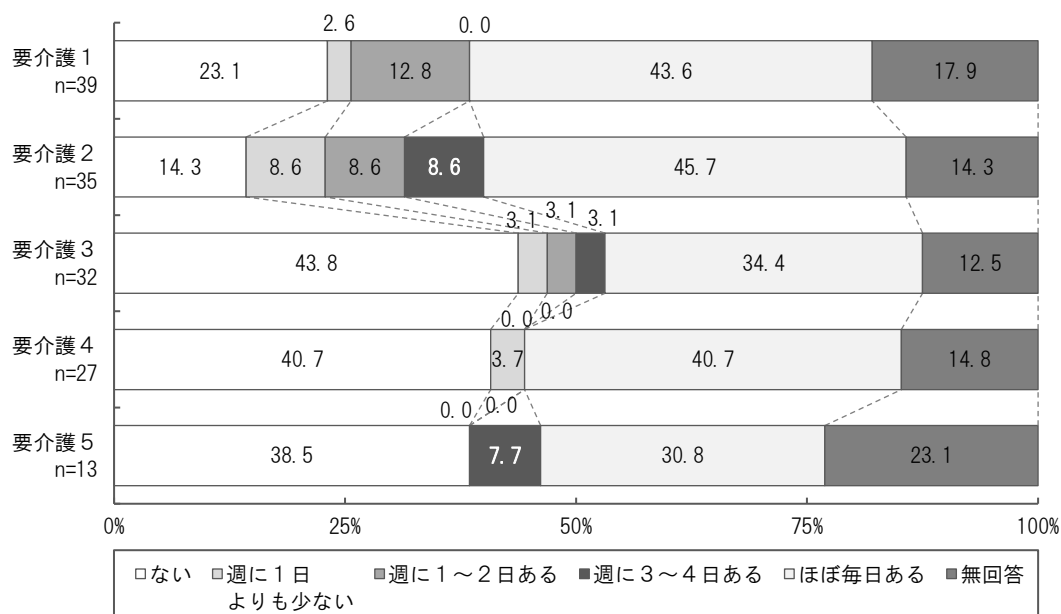
○家族・親族から介護してもらう頻度をみると、「ほぼ毎日ある」(40.4%)が最も高く、次いで「ない」(30.1%)、「週に1～2日ある」(6.2%)、「週に1日よりも少ない(月に3回以下)」(4.1%)、「週に3～4日ある」(3.4%)の順となっています。

問J 家族・親族から介護してもらう頻度



○要介護度別にみた家族・親族から介護してもらう頻度をみると、要介護1・2では「ほぼ毎日ある」(43.6～45.7%)が最も高く、要介護4では「ほぼ毎日ある」「ない」(各40.7%)が同率で最も高く、要介護3・5では「ない」(38.5～43.8%)が最も高くなっています。

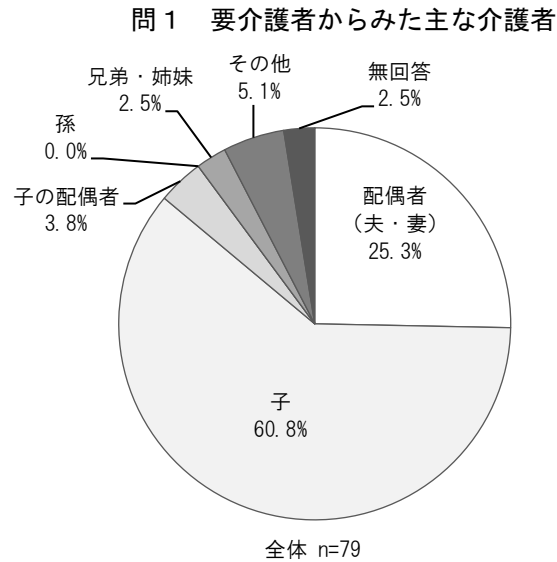
「要介護度」×「問J 家族・親族から介護してもらう頻度」



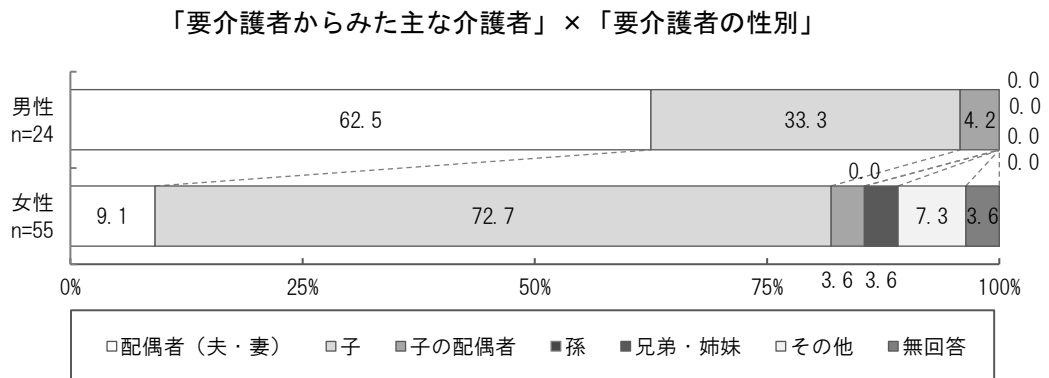
## 2 主な介護者等の状況（属性等）について

### （1）主な介護者の状況

○要介護者からみた主な介護者をみると、「子」(60.8%)が最も高く、次いで、「配偶者(夫・妻)」(25.3%)、「その他」(5.1%)の順となっています。



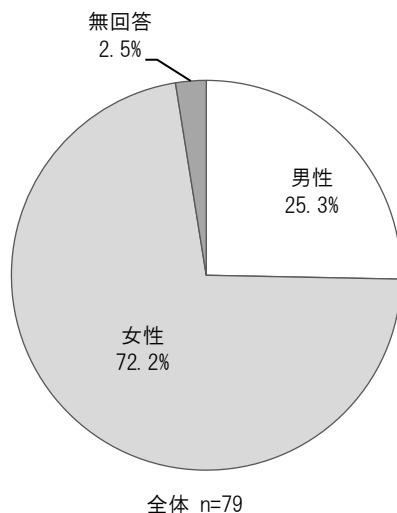
○要介護者の性別でみると、男性では「配偶者(夫・妻)」(62.5%)の割合が女性より53.4ポイント高く、女性では「子」(72.7%)の割合が男性より39.4ポイント高くなっています。





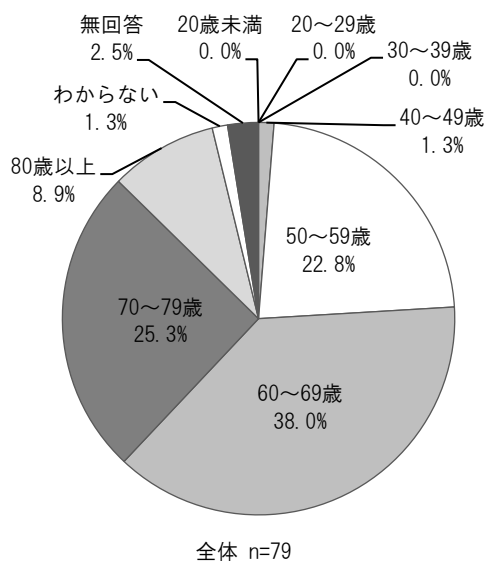
○主な介護者の性別をみると、「女性」(72.2%)、「男性」(25.3%) となっています。

問2 主な介護者の性別



○主な介護者の年齢をみると、「60～69歳」(38.0%) が最も高く、次いで「70～79歳」(25.3%)、「50～59歳」(22.8%)、「80歳以上」(8.9%) の順となっています。

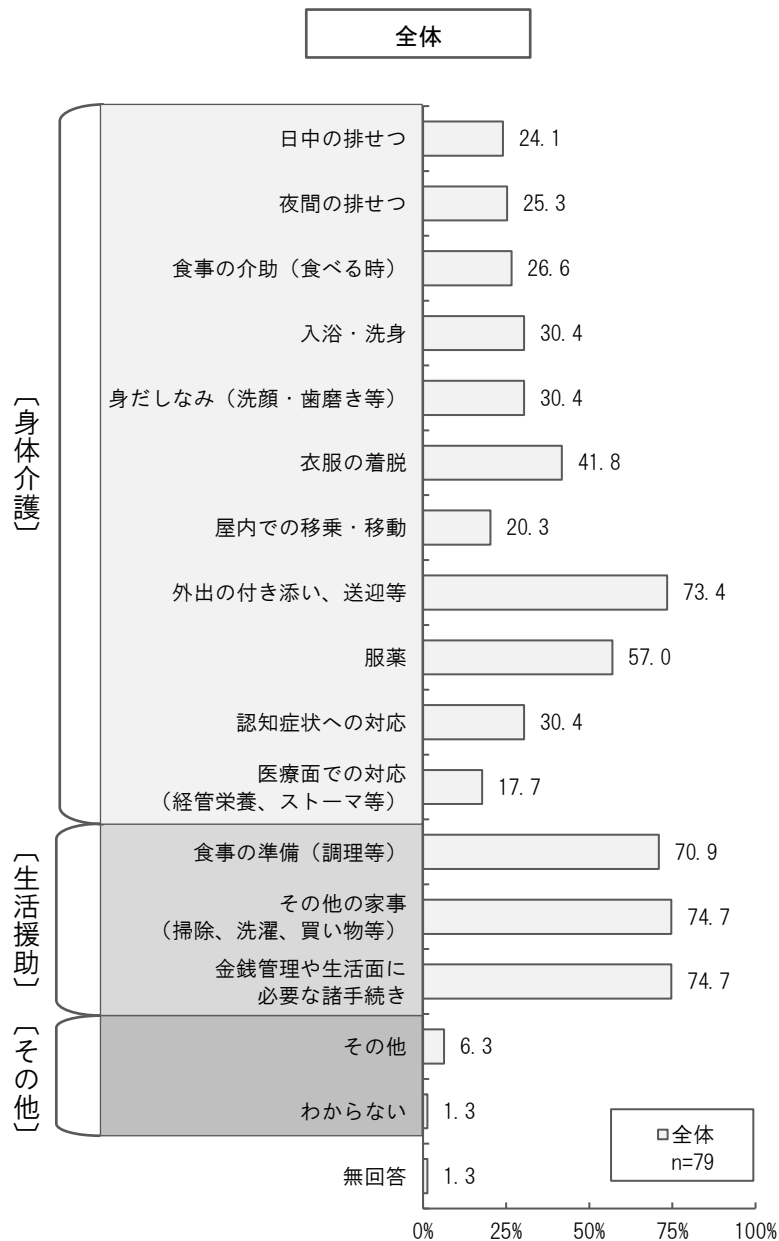
問3 主な介護者の年齢



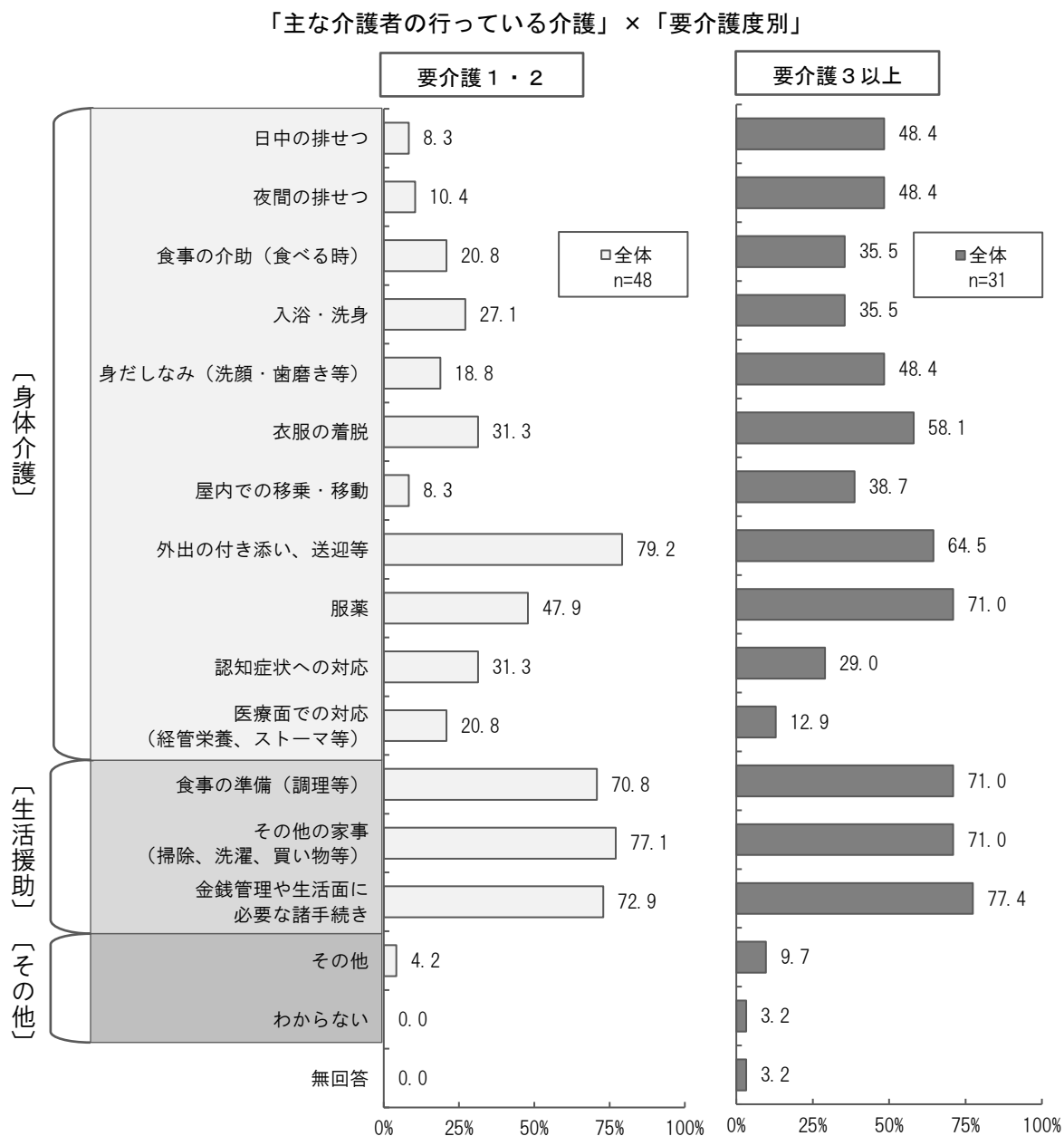
## (2) 主な介護者の介護実態

- 主な介護者の行っている介護をみると、「全体」の身体介護では、「外出の付き添い、送迎等」(73.4%)、「服薬」(57.0%)などが半数を超え高くなっています。
- 生活援助では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(各74.7%)、「食事の準備(調理等)」(70.9%)の3つ項目すべてが高くなっています。

問4 主な介護者の行っている介護

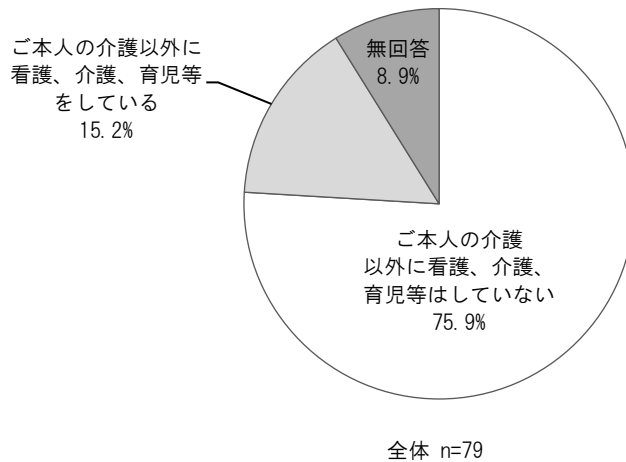


- 主な介護者の行っている介護をみると、「要介護1・2」の身体介護では、「外出の付き添い、送迎等」(79.2%)、「服薬」(47.9%)などが高く、「要介護3以上」の身体介護では、「服薬」(71.0%)、「外出の付き添い、送迎等」(64.5%)などが高くなっています。
- 「要介護1・2」の生活援助では、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(77.1%)、「要介護3以上」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(77.4%)が高くなっています。



○主な介護者が要介護者以外に主として介護等を行っているかをみると、「ご本人の介護以外に看護、介護、育児等をしている」方は15.2%います。

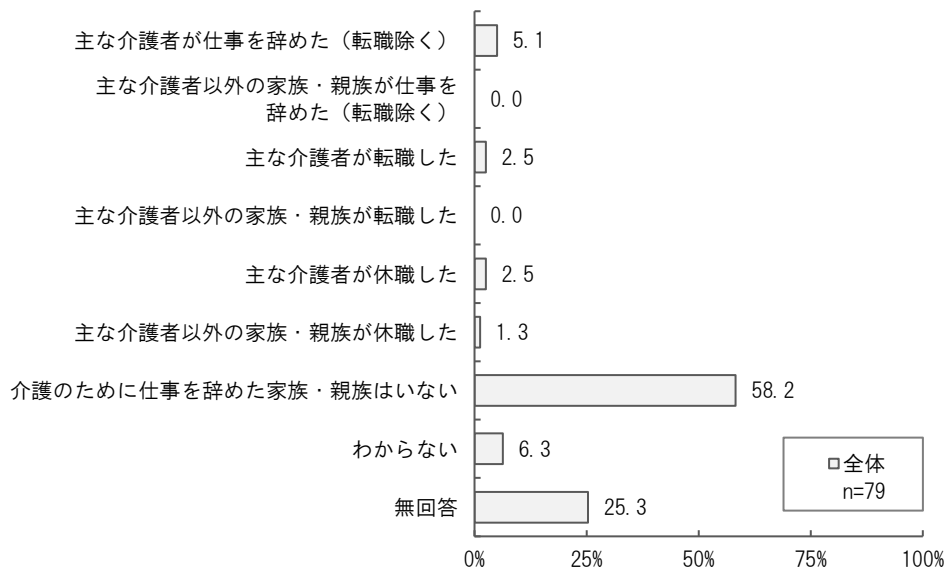
問5 主な介護者が要介護者以外に主として介護等を行っている人の有無



### (3) 家族・親族が介護のために離職した状況

○家族・親族が介護を理由に退職・転職したのかをみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（5.1%）、「主な介護者が転職した」（2.5%）という結果となっています。

問6 家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無



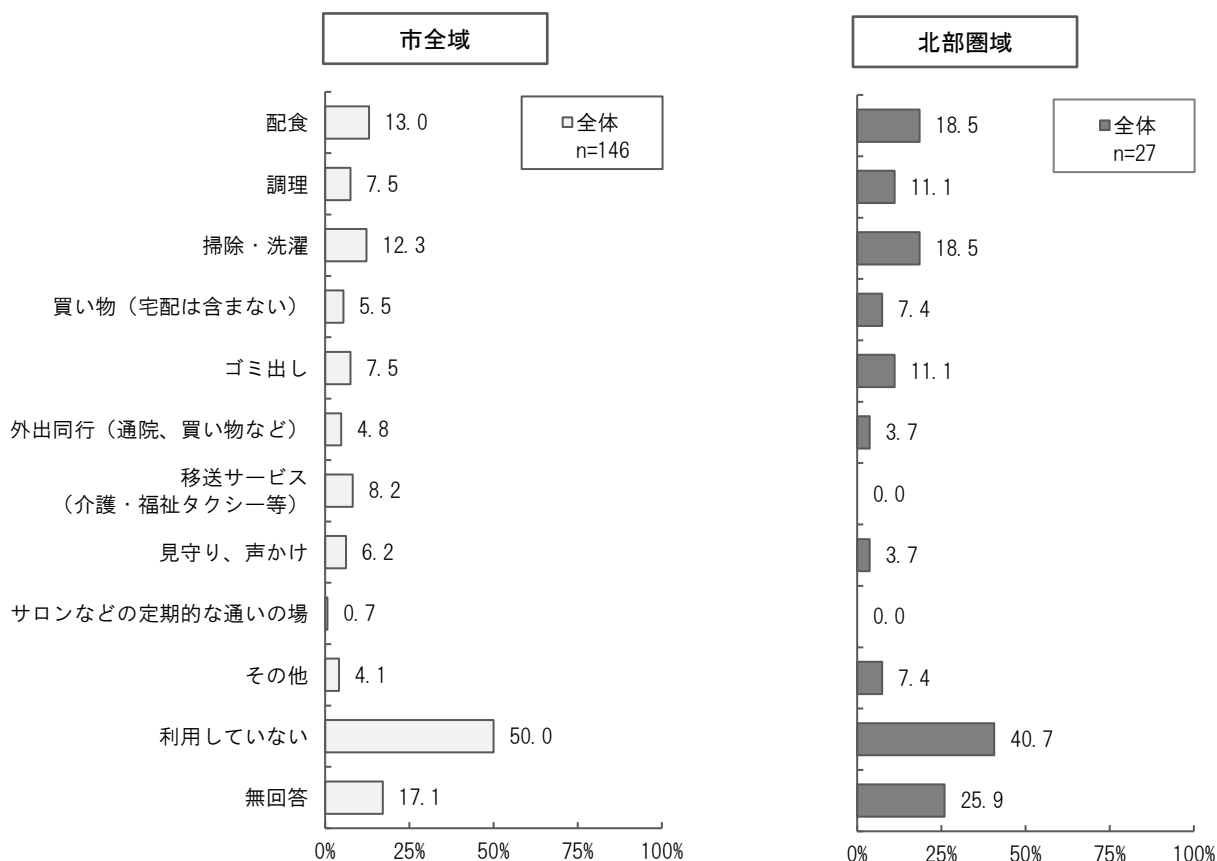
### 3 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて

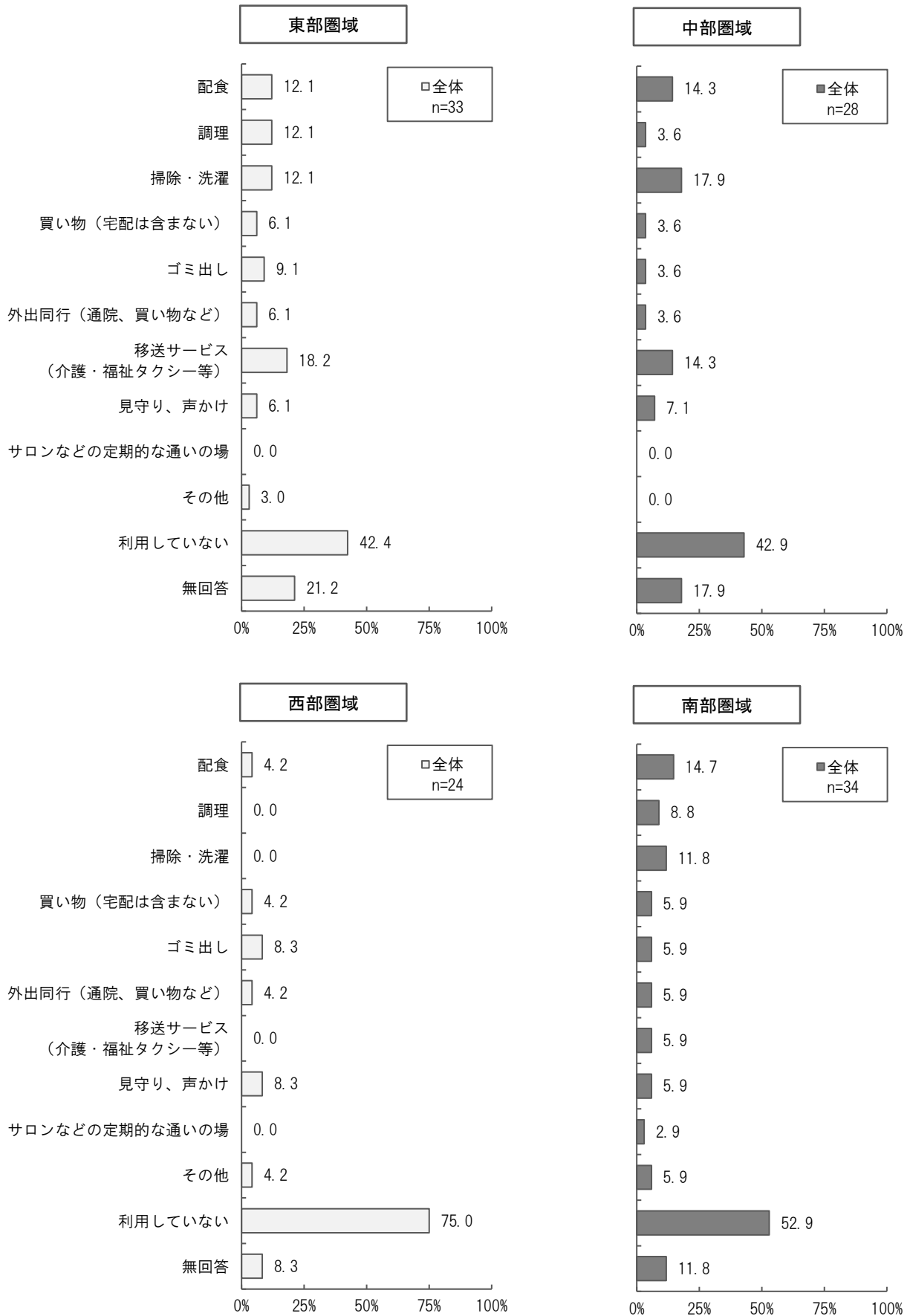
#### (1) 在宅生活を続けていくための必要な支援・サービス

○介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況を見ると、市全域では、「利用していない」(50.0%)が最も高く、次いで「配食」(13.0%)、「掃除・洗濯」(12.3%)の順となっています。

○圏域別の結果は以下のとおりです。

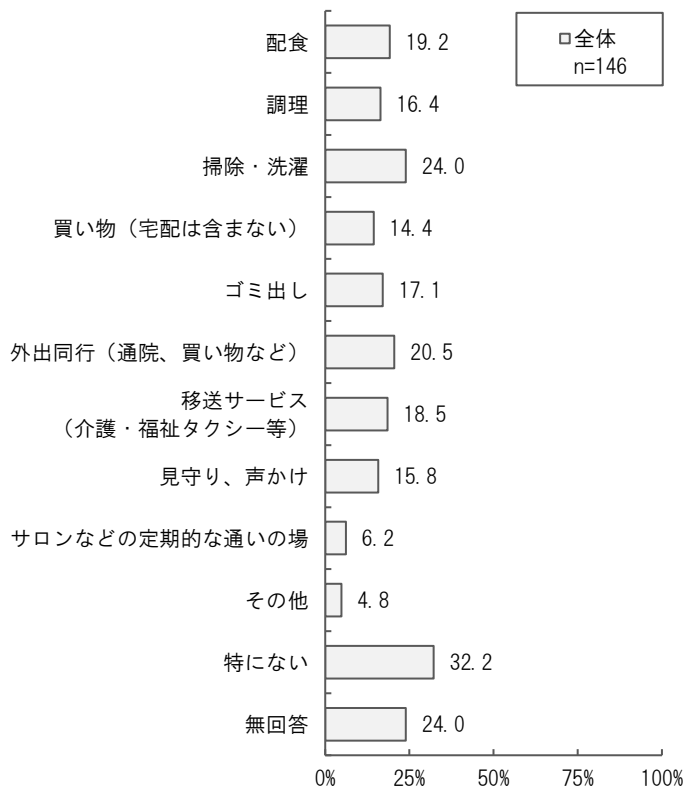
問7 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況 (×「圏域別」)





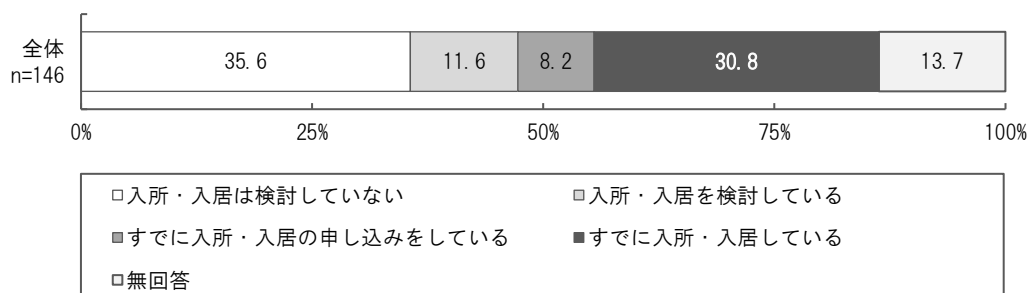
○在宅生活を続けていくために必要な支援・サービスの意向をみると、「掃除・洗濯」(24.0%)が最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」(20.5%)、「配食」(19.2%)、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」(18.5%)の順となっています。

問8 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービス



○施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、「入所・入居は検討していない」(35.6%)が最も高く、次いで「すでに入所・入居している」(30.8%)の順となっています。

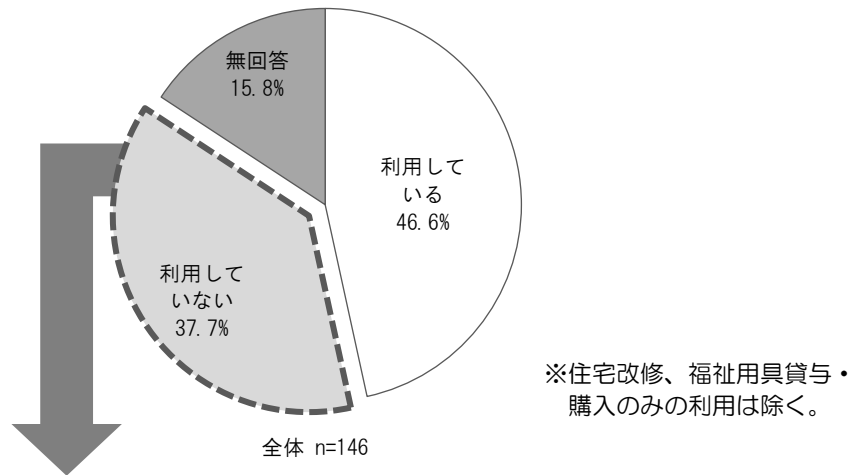
問9 施設等への入所・入居に関する検討



## (2) 介護保険サービスの利用状況

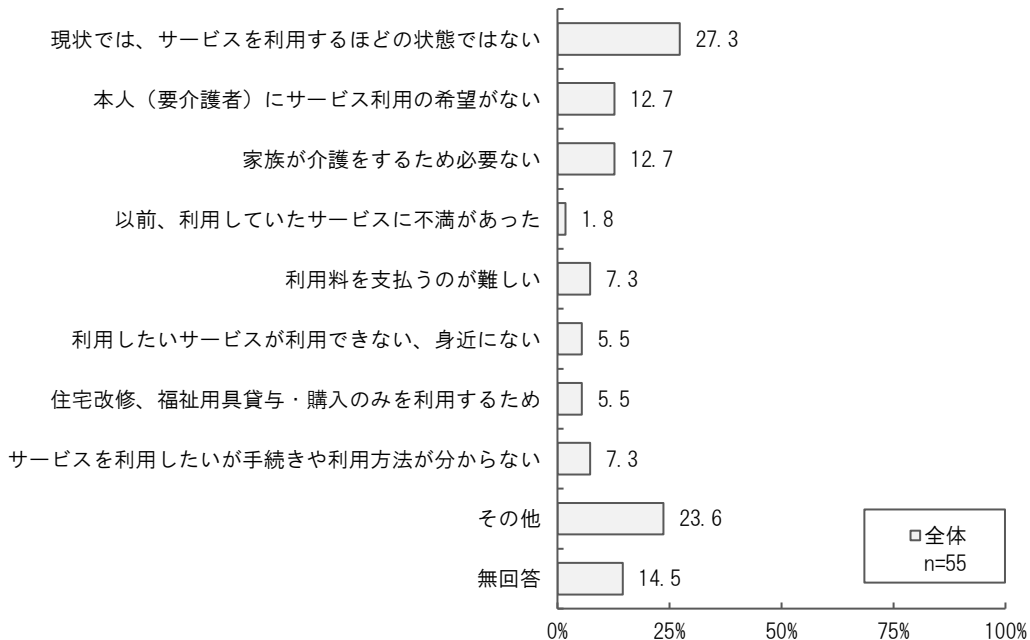
○介護保険サービスの利用の状況を見ると、「利用している」(46.6%)、「利用していない」(37.7%)となっています。

問 12 介護保険サービスの利用の有無



○介護保険サービスを「利用していない」理由をみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(27.3%)が最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」「本人(要介護者)にサービス利用の希望がない」(各12.7%)の順となっています。

問 13 介護保険サービスを利用していない理由

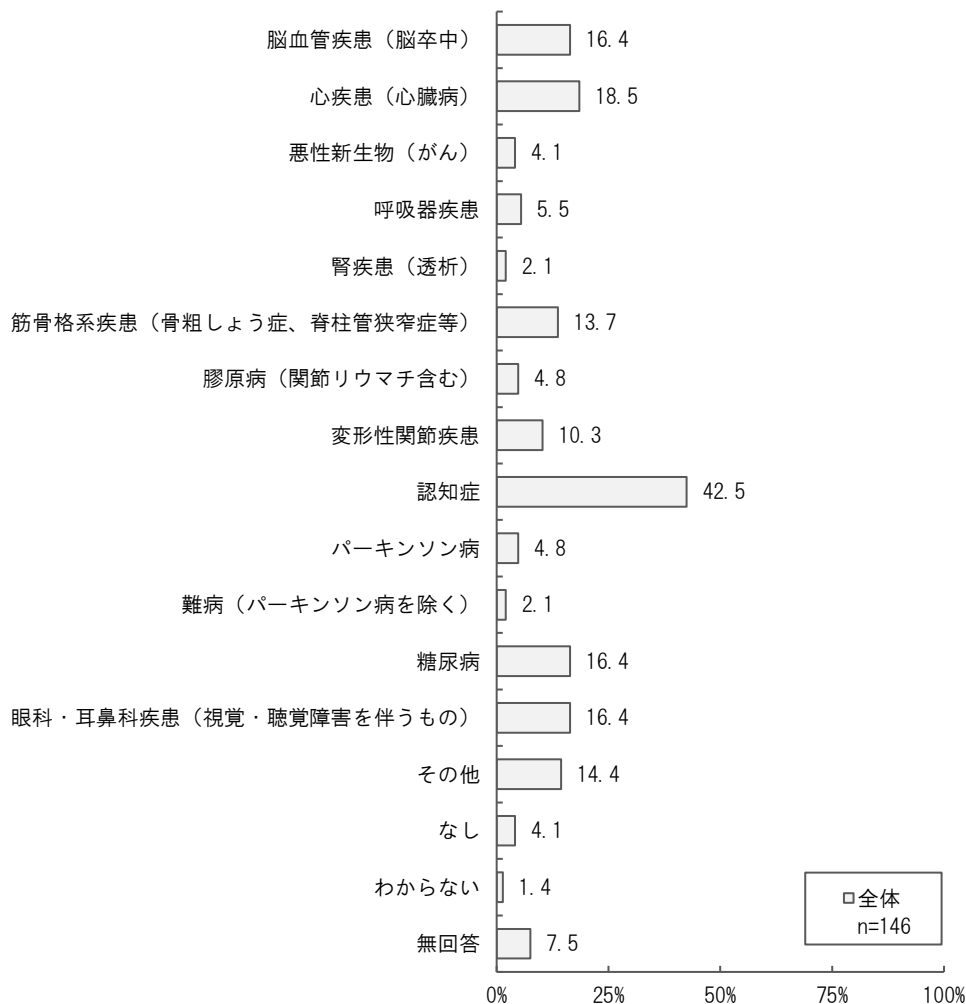




### (3) 抱えている傷病と訪問診療の利用状況

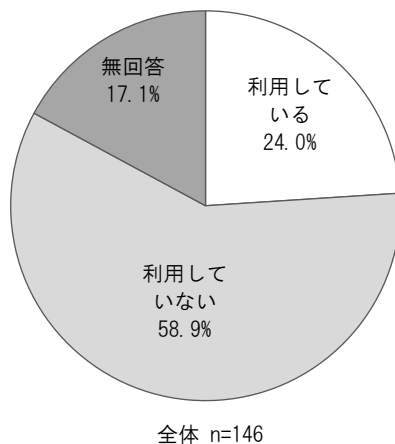
○要介護者が現在抱えている傷病をみると、「認知症」(42.5%)が最も高く、次いで「心疾患(心臓病)」(18.5%)、「脳血管疾患(脳卒中)」「糖尿病」「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」(各16.4%)の順となっています。

問10 要介護者が現在抱えている傷病名



○訪問診療の利用状況をみると、「利用している」(24.0%)となっています。

問11 訪問診療の利用の有無

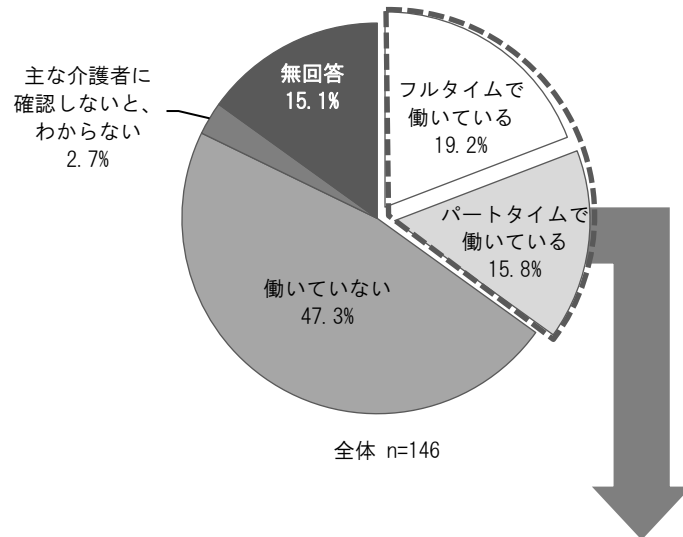


## 4 主な介護者の就労状況について

### (1) 主な介護者の勤務形態

○主な介護者の現在の勤務形態をみると、「フルタイムで働いている」(19.2%)と「パートタイムで働いている」(15.8%)を合わせた就労者は35.0%となっています。一方、「働いていない」方は47.3%います。

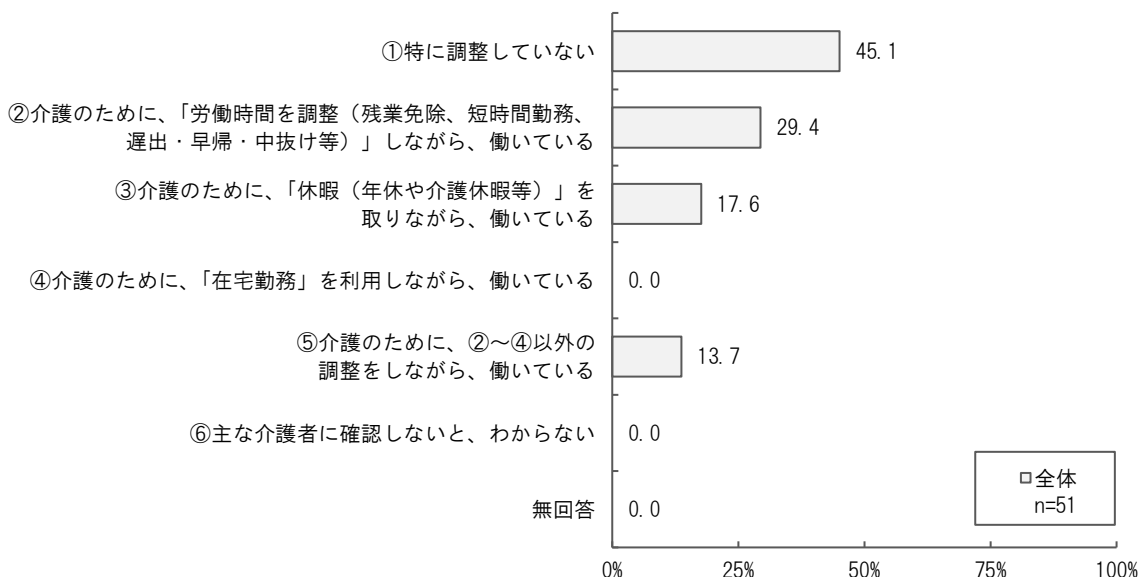
問 14 主な介護者の現在の勤務形態



### (2) 継続就労者（フルタイム・パートタイム）の就労実態と意向

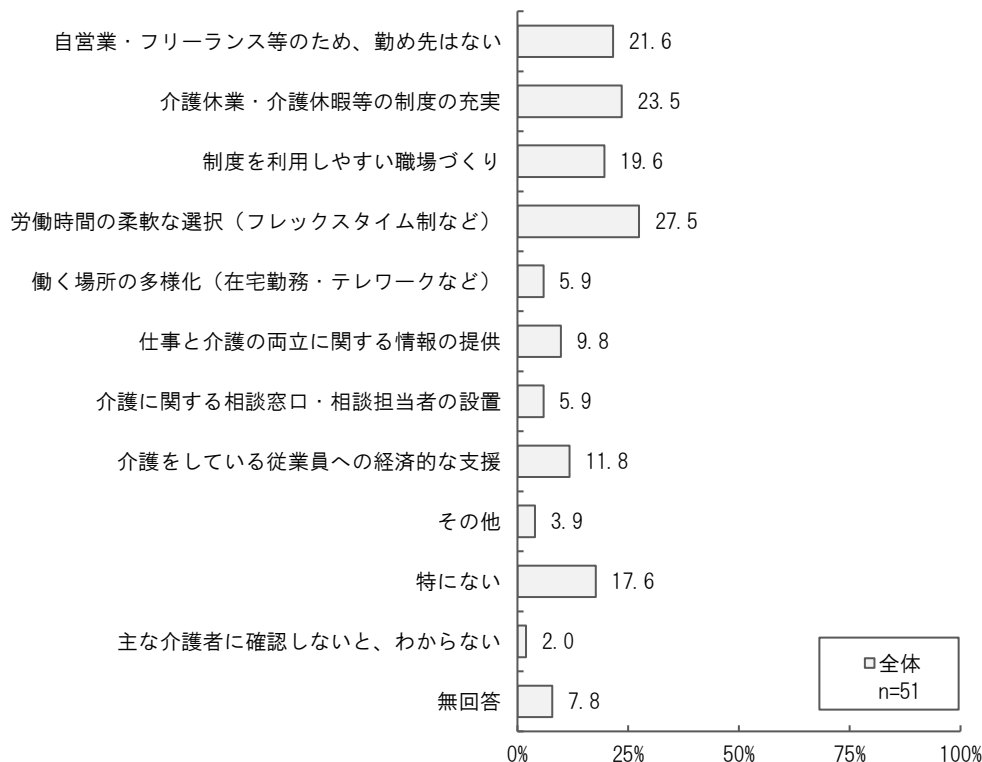
○介護のために働き方を調整しているかをみると、「特に調整していない」(45.1%)が最も高く、次いで「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」(29.4%)、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」(17.6%)の順となっています。

問 15-1 働き方を調整しているか



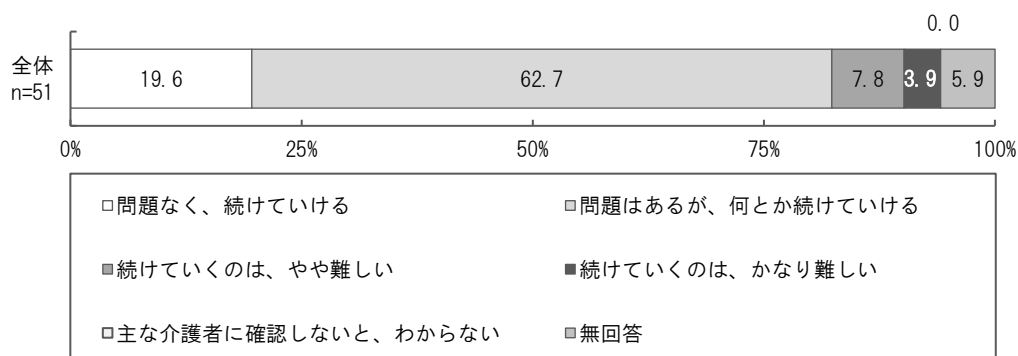
○仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援をみると、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（27.5%）が最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」（23.5%）、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」（21.6%）の順となっています。

問 15-2 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援



○今後も働きながら介護を続けていけそうかをみると、「問題はあるが、何とか続けていける」（62.7%）が最も高く、次いで「問題なく、続けていける」（19.6%）、「続けていくのは、やや難しい」（7.8%）の順となっています。

問 15-3 今後も働きながら介護を続けていけそうか



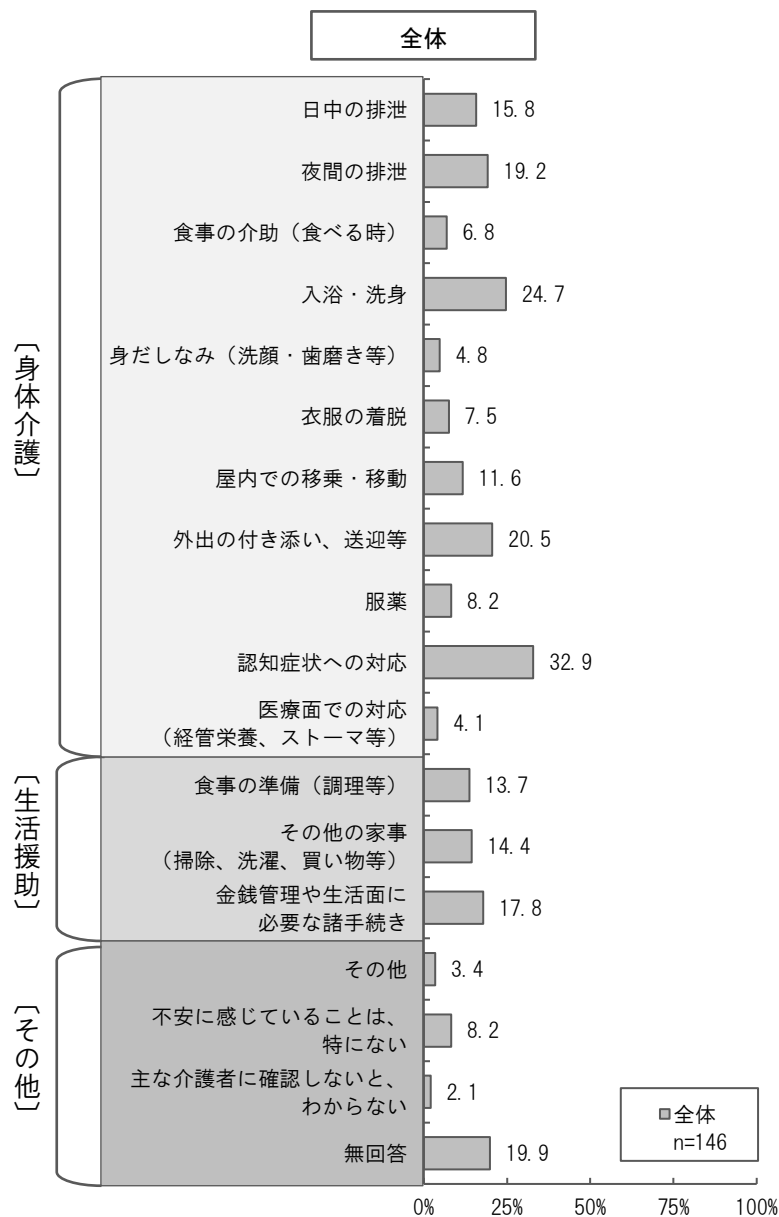
## 5 介護生活を続ける際の不安や困りごと

### (1) 主な介護者が不安に感じる介護の内容

○主な介護者が不安に感じる介護内容をみると、「全体」の身体介護は、「認知症状への対応」(32.9%)が最も高く、次いで「入浴・洗身」(24.7%)「外出の付き添い、送迎等」(20.5%)の順となっています。

○生活援助は、「全体」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(17.8%)が最も高くなっています。

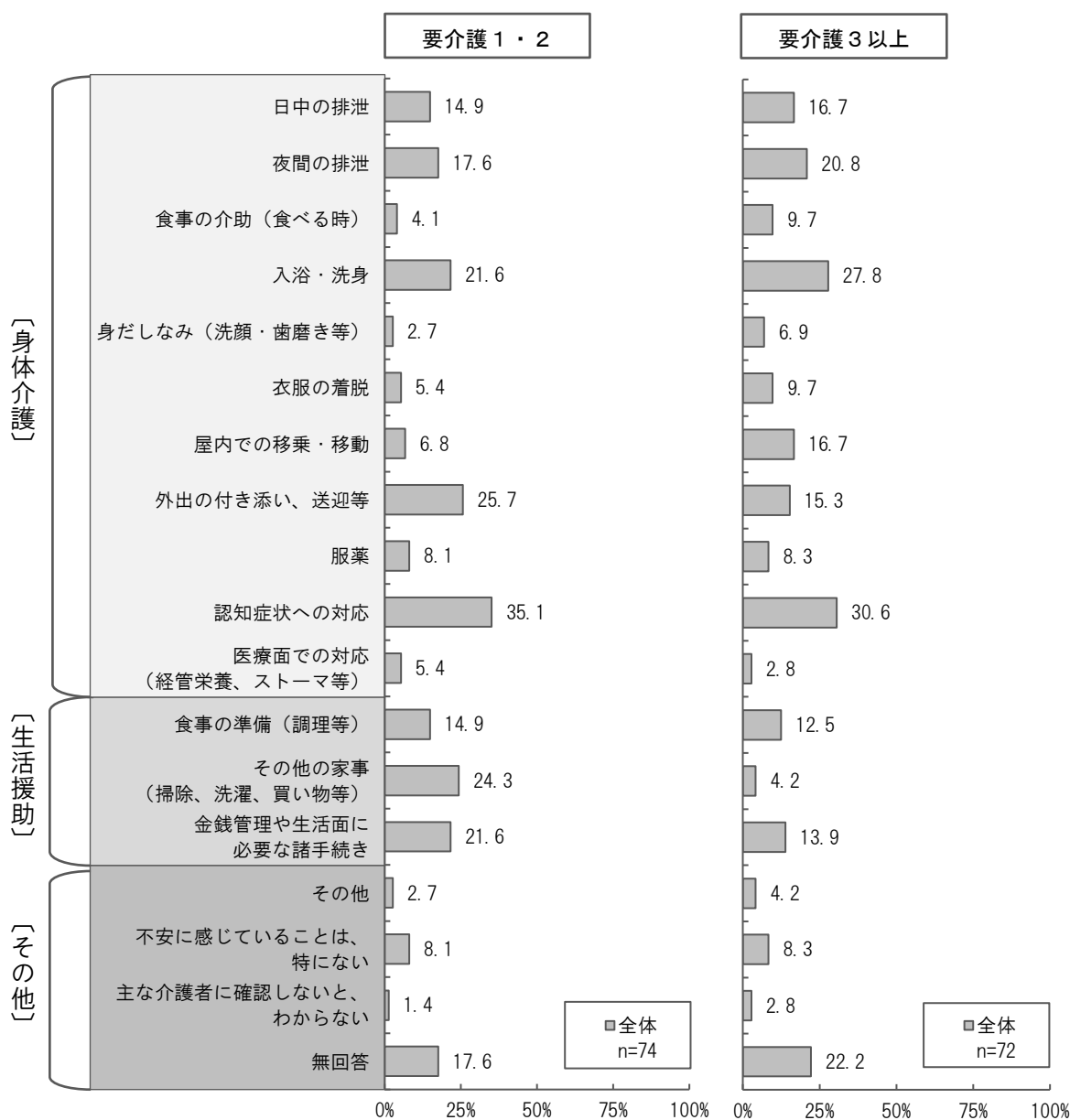
問 16 主な介護者が不安に感じる介護



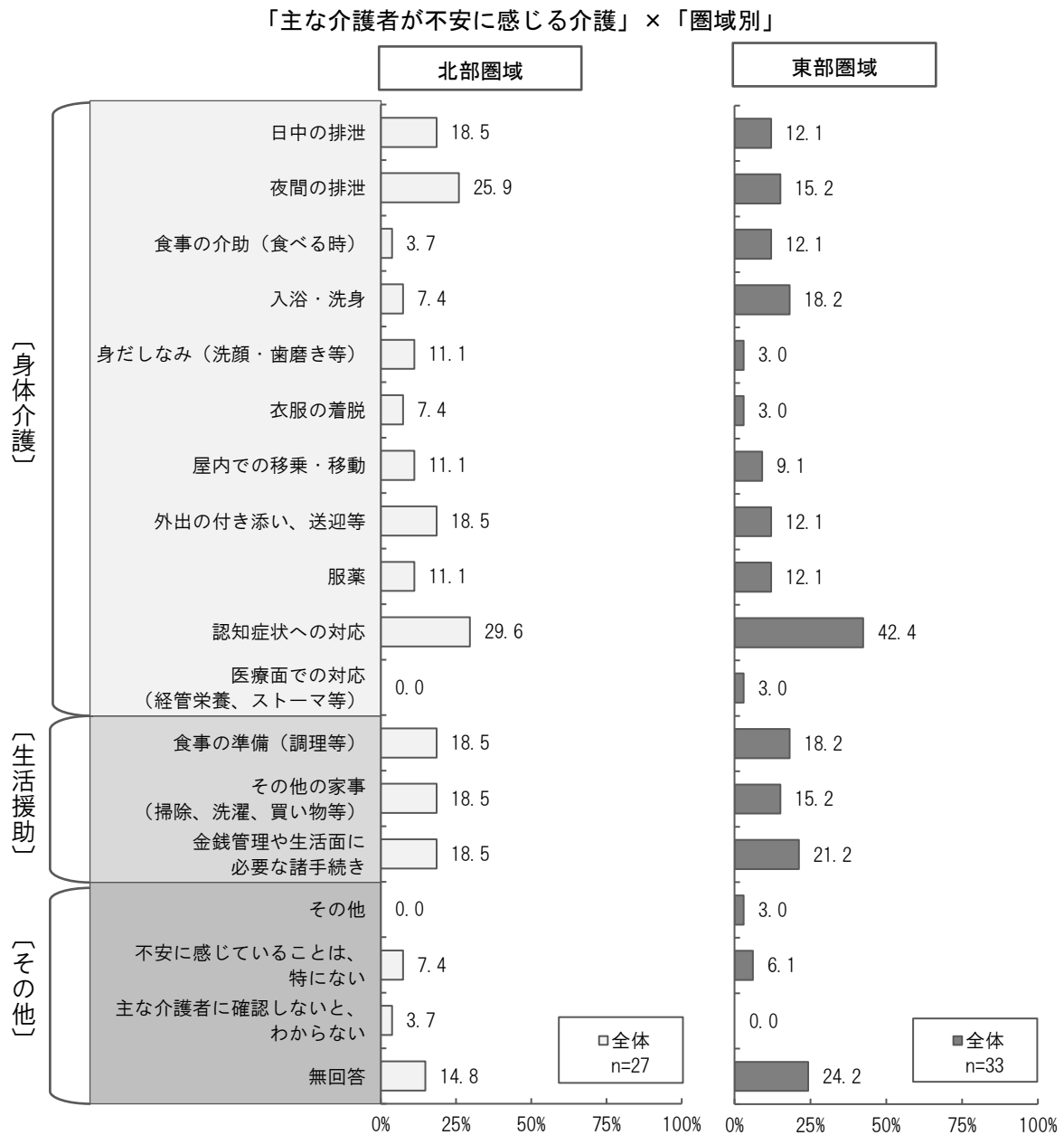
○主な介護者が不安に感じる介護内容について要介護度別にみると、「要介護1・2」の身体介護は、「認知症状への対応」(35.1%)が最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」(25.7%)、「入浴・洗身」(21.6%)の順となっています。また、「要介護3以上」では、「認知症状への対応」(30.6%)、「入浴・洗身」(27.8%)、「夜間の排泄」(20.8%)となっています。

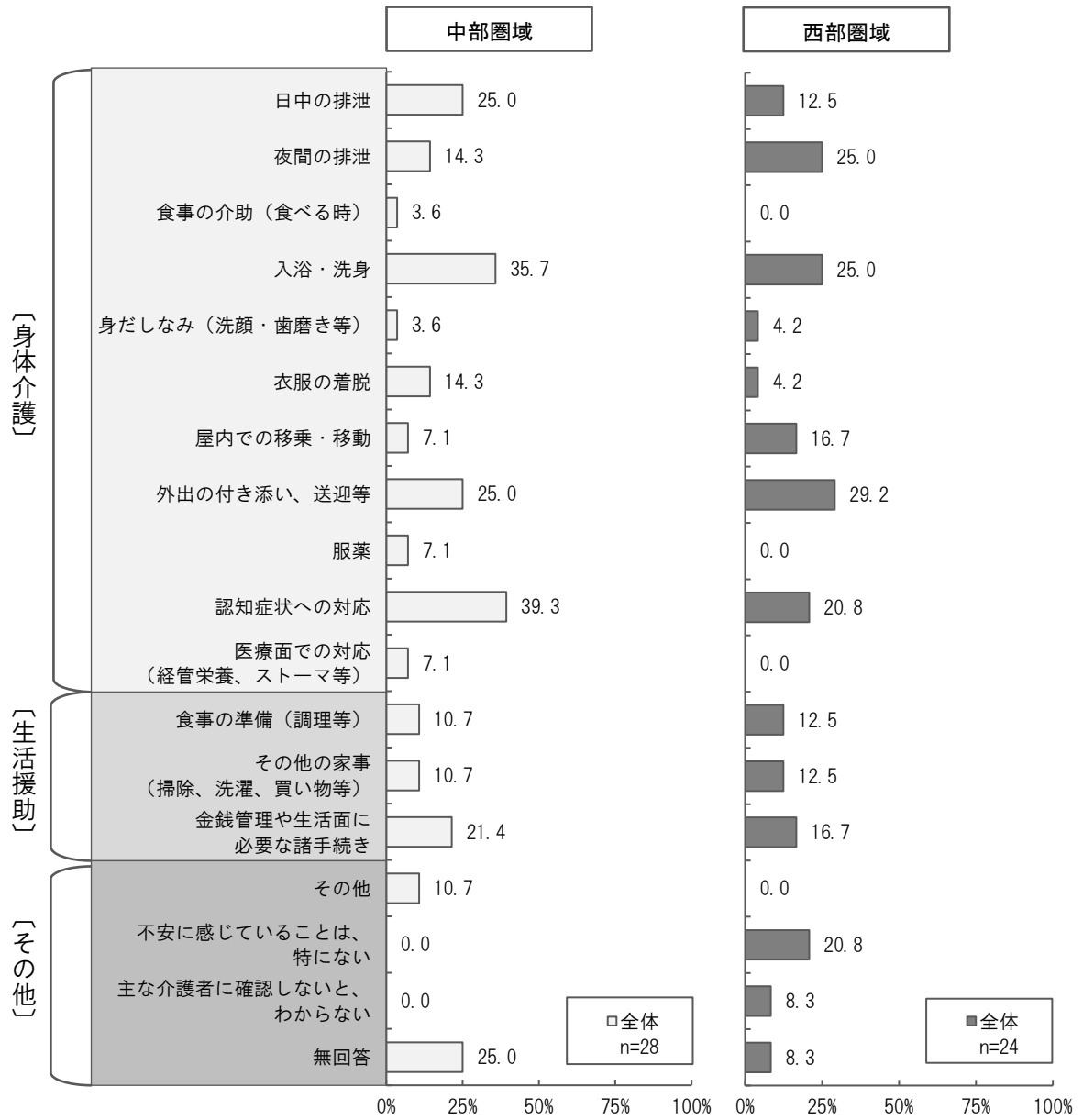
○生活援助は、「要介護1・2」では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(24.3%)、「要介護3以上」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(13.9%)が最も高くなっています。

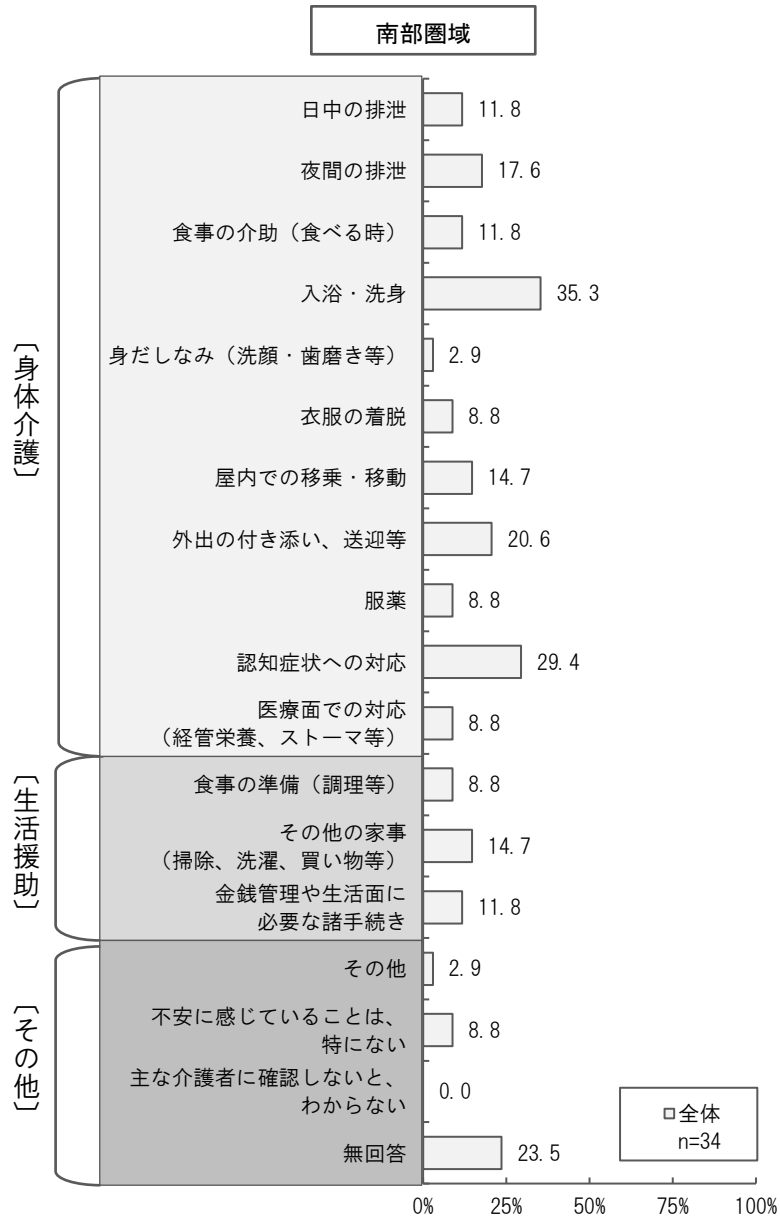
「主な介護者が不安に感じる介護」×「要介護度別」



○圏域別にみた主な介護者が不安を感じる介護内容の結果は以下のとおりです。



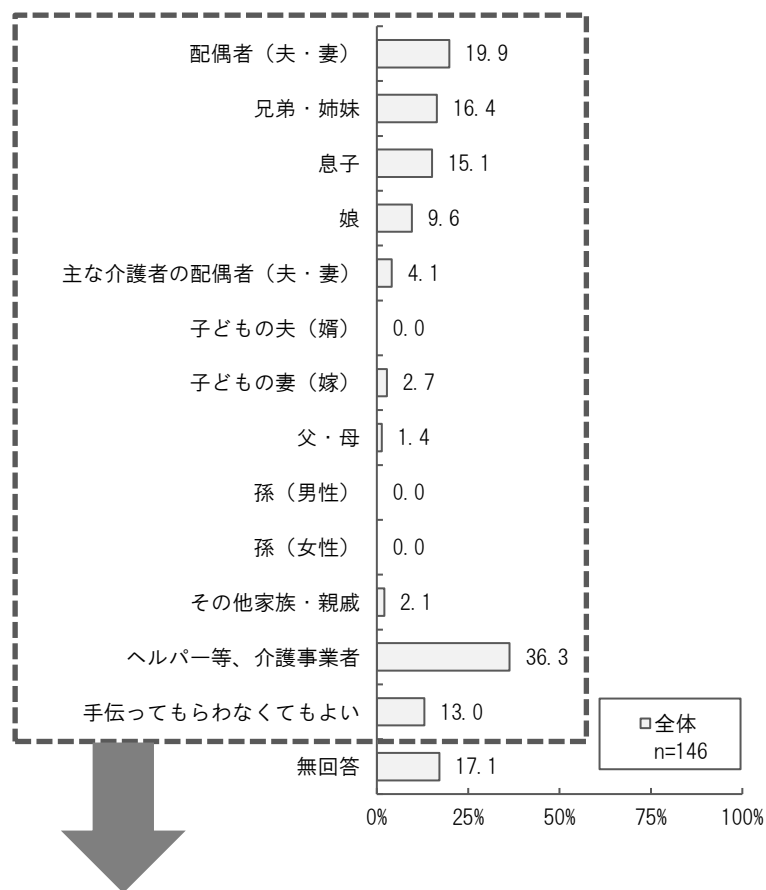






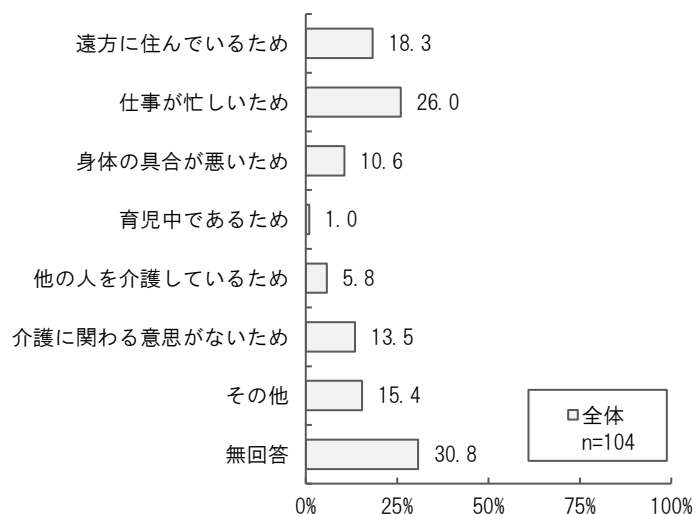
○主な介護者が負担軽減のために誰に手伝ってほしいかをみると、「ヘルパー等、介護事業者」(36.3%)が最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」(19.9%)、「兄弟・姉妹」(16.4%)、「息子」(15.1%)の順となっています。一方、「手伝ってもらわなくてもよい」と答えた方が13.0%います。

問 17 主な介護者が負担軽減のために誰に手伝ってほしいか



○手伝ってもらえない場合の理由をみると、「仕事が忙しいため」(26.0%)が最も高く、次いで「遠方に住んでいるため」(18.3%)、「介護に関わる意思がないため」(13.5%)の順となっています。

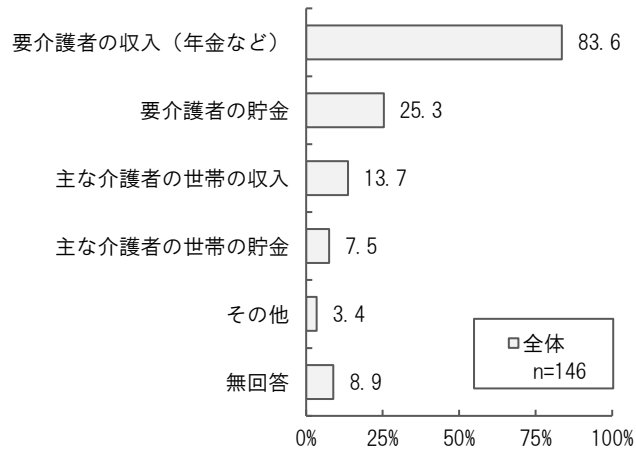
問 17-1 手伝ってもらえない場合の理由



## (2) 介護費用の支払い元

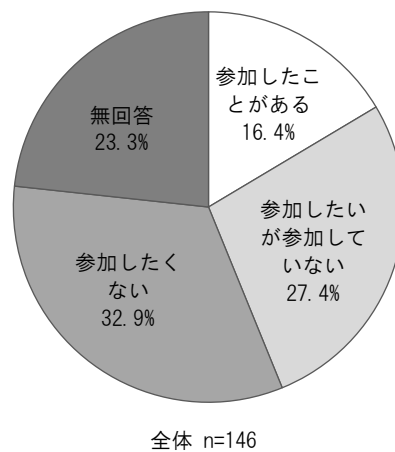
○介護費用の支払い元をみると、「要介護者の収入（年金など）」（83.6%）が最も高く、次いで「要介護者の貯金」（25.3%）、「主な介護者の世帯の収入」（13.7%）の順となっています。

問 18 介護費用の支払い元



○介護当事者等の集いへの参加の有無をみると、「参加したくない」（32.9%）が最も高く、次いで「参加したいが参加していない」（27.4%）、「参加したことがある」（16.4%）の順となっています。

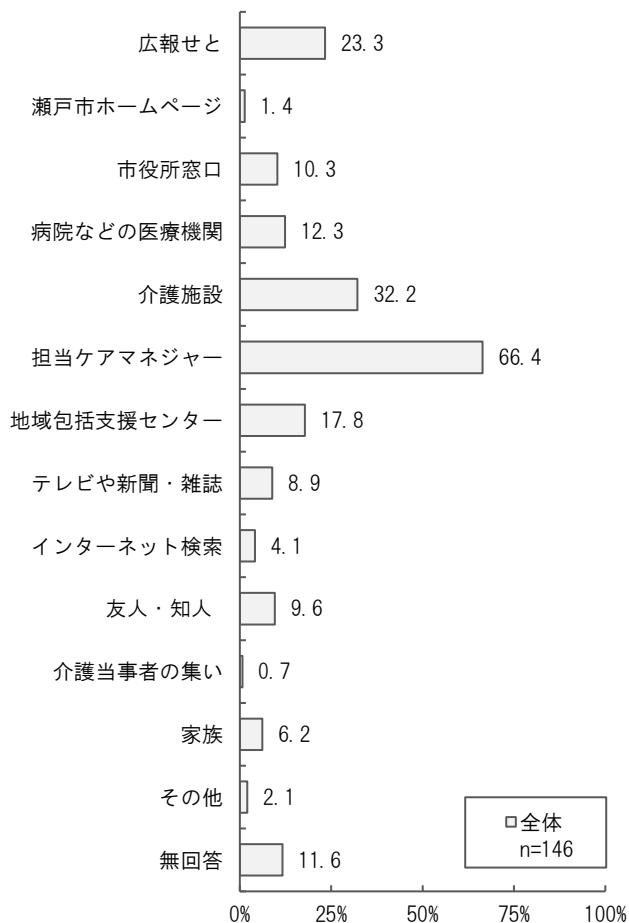
問 19 介護当事者等の集いへの参加の有無



### (3) 介護に関する情報

○介護に関する情報の入手先をみると、「担当ケアマネジャー」(66.4%)が最も高く、次いで「介護施設」(32.2%)、「広報せと」(23.3%)、「地域包括支援センター」(17.8%)の順となっています。

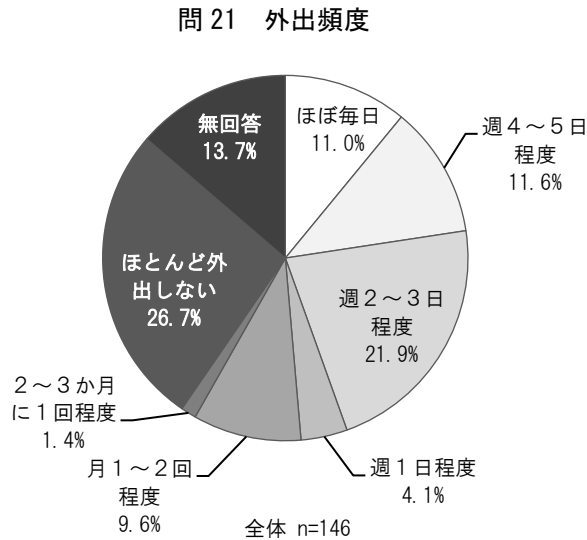
問 20 介護に関する情報の入手先



## 6 外出活動の状況

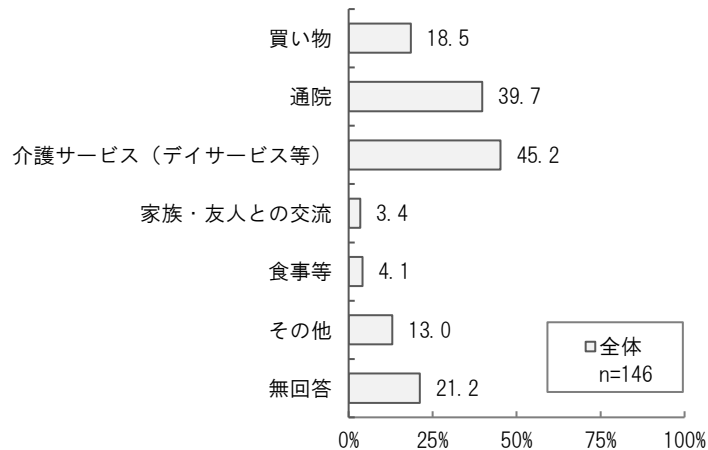
### (1) 外出の頻度や目的

○要介護者の外出頻度をみると、「ほとんど外出しない」(26.7%)が最も高く、次いで「週2～3日程度」(21.9%)となっています。



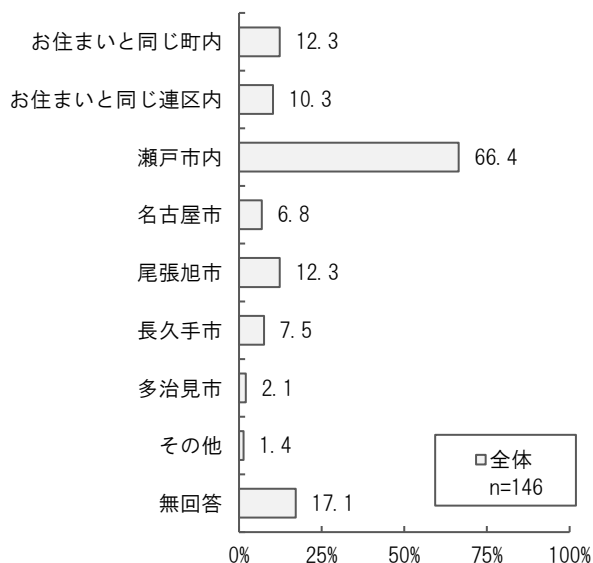
○外出の目的は、「介護サービス（デイサービス等）」(45.2%)が最も高く、次いで「通院」(39.7%)、「買い物」(18.5%)となっています。

問 22 外出の目的（上位2位まで）



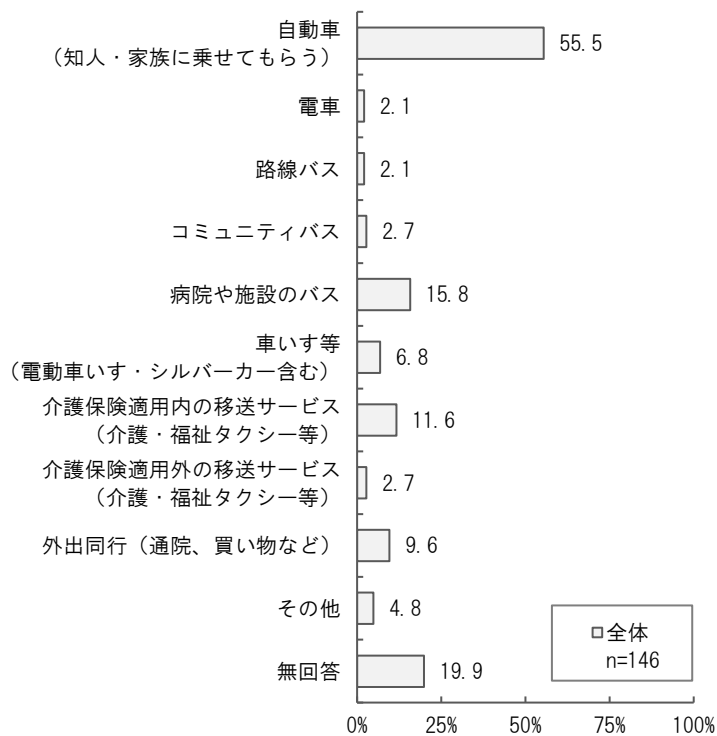
○外出先の地区をみると、「瀬戸市内」(66.4%)が最も高く、次いで「お住まいと同じ町内」「尾張旭市」(各12.3%)となっています。

問 23 外出先の地区



○外出の手段は、「自動車(知人・家族に乗せてもらう)」(55.5%)が最も高く、次いで「病院や施設のバス」(15.8%)となっています。

問 24 外出の手段(上位2位まで)

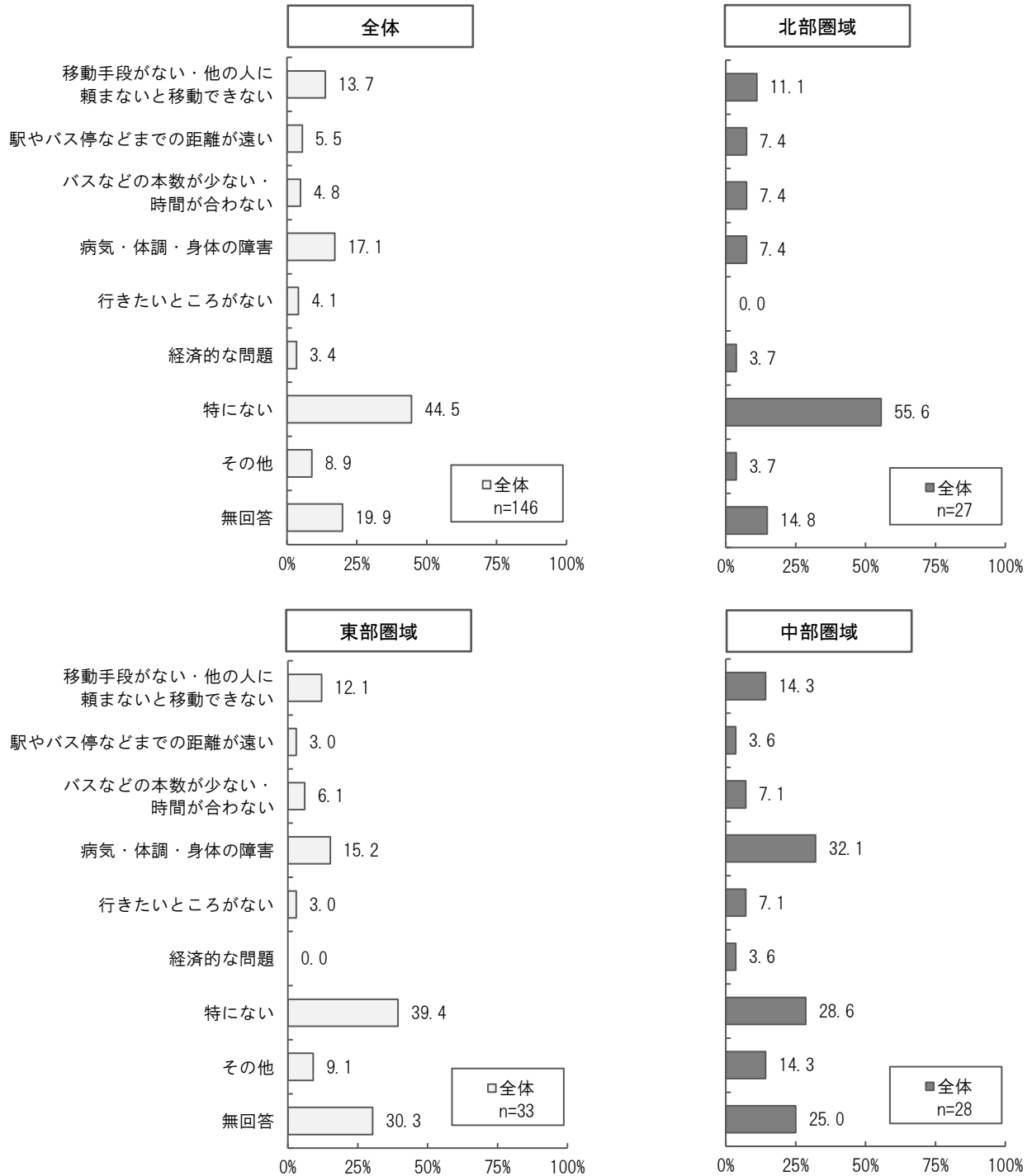


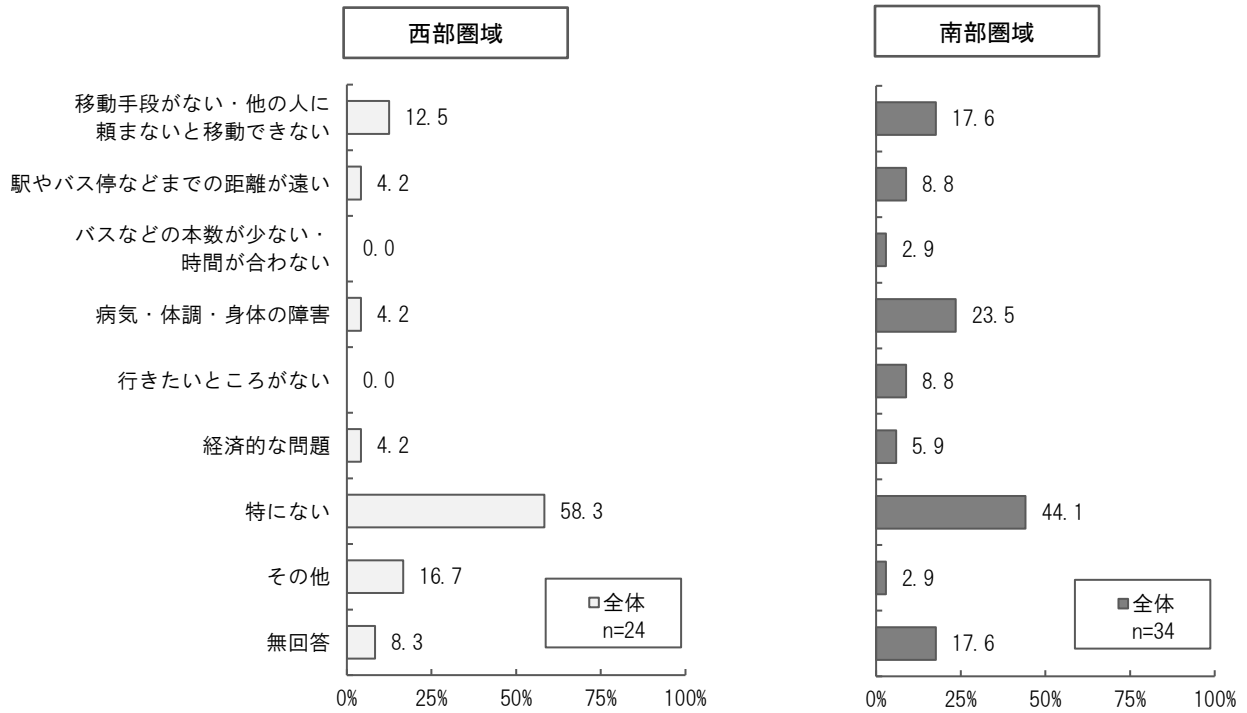
## (2) 外出に際する困りごと

○外出に際しての困りごとをみると、「病気・体調・身体の障害」(17.1%)が最も高く、次いで「移動手段がない・他の人に頼まないと移動できない」(13.7%)となっています。

○圏域別にみた外出に際しての困りごとの結果は以下のとおりです。

問 25 外出に際しての困りごと (×「圏域別」)





## 作業目次

<b>第4章 第7期経過介護実態調査結果</b> .....	<b>124</b>
1 ご本人（要介護者）の状況について .....	124
(1) 調査時の要介護度 .....	124
(2) 要介護度の経年比較 .....	124
(3) 要介護者の家族構成 .....	125
(4) 要介護者の生活状況 .....	126
(5) 家族・親族による介護の頻度 .....	130
2 主な介護者等の状況（属性等）について .....	131
(1) 主な介護者の状況 .....	131
(2) 主な介護者の介護実態 .....	133
(3) 家族・親族が介護のために離職した状況 .....	135
3 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて .....	136
(1) 在宅生活を続けていくための必要な支援・サービス .....	136
(2) 介護保険サービスの利用状況 .....	139
(3) 抱えている傷病と訪問診療の利用状況 .....	140
4 主な介護者の就労状況について .....	141
(1) 主な介護者の勤務形態 .....	141
(2) 継続就労者（フルタイム・パートタイム）の就労実態と意向 .....	141
5 介護生活を続ける際の不安や困りごと .....	143
(1) 主な介護者が不安に感じる介護の内容 .....	143
(2) 介護費用の支払い元 .....	149
(3) 介護に関する情報 .....	150
6 外出活動の状況 .....	151
(1) 外出の頻度や目的 .....	151
(2) 外出に際する困りごと .....	153